

ベランダで新生姜を育ててみよう！

園芸好きの会員さんから「ミミヨリ」な情報をお寄せいただきましたのでご紹介します。場所問わず手間いらずの「新生姜」栽培方法をご紹介します。



日本では、年に一度の「新生姜」の出回る季節がやってくると、そのまま味噌をつけてかじってみたり、薄切りにして淡いピンクの甘酢漬けにしたりして季節の味を楽しんだ方も多いのではないでしょうか。

日本ではその季節にしか楽しめない「新生姜」ですが、ここグアムでは一年中収穫が可能なんです。

まず、スーパーマーケット等で「種」になる根生姜を買きましょう。その際、ごつごつした生姜の先端にかすかに芽の出る部分があるもの(写真参照)を選んでください。



生姜を買って家に帰ったら、生姜の数にあった大きさの鉢やプランターを用意します。その中に土を入れ、生姜を重ならないように埋めるだけです。最初はたっぷりの水で土を湿らせますが、その後は芽が生え揃うまでは水やりを控えめにしましょう。水のやりすぎは種の生姜を腐らせる原因になります。腐ってしまえば芽も出なくなります。



芽が出たら、土の表面が乾いたら水やりをするようにしましょう。

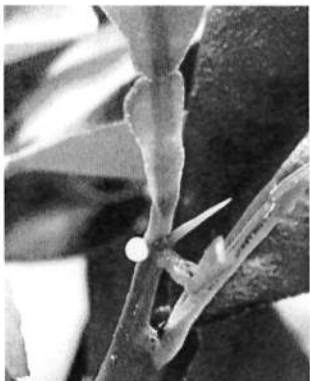
「新生姜」の収穫まで4~5ヶ月かかりますが、その間1~2回肥料をやるとより立派に育ちます。

簡単ですので、ぜひ皆さんもチャレンジして「新生姜」の味や香りをお楽しみください！

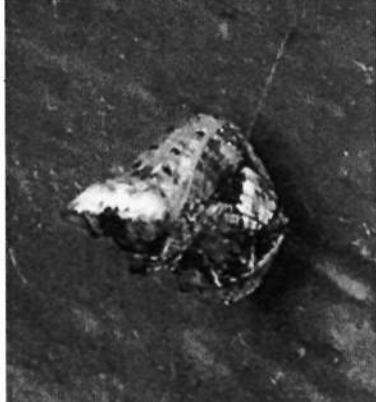
ペンネーム：安

蝶を育ててみませんか？

2017年8月、カラマンシーを一鉢買いました。ベランダに置くとすぐに黒アゲハがやってきて、卵を2つ産みました。実は日本の友人が蝶を育てていて、以前から私もやってみたいと思っていたのですが、こんなにすぐに産卵してくれるとは思っていませんでした。



卵は2、3日ほどで幼虫となり、すごい勢いでカラマンシーの葉を食べ始めました。毎日の成長が楽しみでせっせと写真を撮りました。やがて緑色の終齢幼虫となり、サナギに。1匹はすぐに見つけられました。1匹は数日間探して、やっとベランダの外壁にくっついているのを発見しました。



ある朝起きて見てみると、壁に羽化したばかりの黒アゲハがとまっていた。午後になっただけでなくなっていて、旅立ちを見送ることはできませんでした。



その後も蝶がやってきては産卵し、蝶になって旅立つのを何回も見送りました。途中で赤蟻にやられてしまったりして、蝶になれる確率は意外に低く、自然界の生存競争の厳しさも知りました。最近では、飛んでいる蝶を見ると、うちの子の子孫かもしれないと、変な親心を感じるようになってきました。

カラマンシーの苗は10ドルほどで買えますので、興味のある方は蝶を育ててみませんか？実を絞った後の種をまいても、ちゃんと芽が出て育つので、気の長い方は種から育ててみてくださいね。

清水 優子

あなたのために、ご家族のために
プロによる歯科治療
 私達「ハファディ ファミリーデンタル PC」
 スタッフにぜひ一度ご相談下さい。
 一人一人の状態に合ったアドバイス・治療を
 いたします。

David Marutani, DMD
 General Dentist

Yas Takenaka, DDS
 General Dentist

Victoria Cheng, DMD
 Children's Specialist

Hafa Adai
 Family Dental PC

Phone: (671)649-7851/52
 タムニング、ITCビルディング
 104号室 (ロビー階)
 営業時間: 8~17時(月・火・水・金)
 8~15時半(土)
 お休み(木・日)